



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

大雪、灯油の高騰は道民を悩ませる。日差しに春の気配を感じてもまだまだ北海道は冬だ。そんな北海道のお米「ゆめぴりか」2年連続「なつぽし」3年連続食味ランキング「特A」獲得。北海道のお米にもちゃんと春が来た。

朝風

50周年を記念の歴代委員長リレーエッセー3回目。毎回楽しみにしているの声をうれしい。いつの時にも政府自民党の激しい攻撃に屈しない先輩たちのたたかきがある。敗北は終わりではない！あきらめは終わり！肝に銘じたい。

第54回臨時大会特集号

- 23面
 - 臨時大会質疑
 - 結成50周年記念レセプション
 - おいしいものプレゼント当選者
- 4面
 - 女性交流集会
 - 女性政治集会
 - 職場だより
 - チャレンジ！チルドレンファースト
 - ヒロちゃんの国会だより 最終回

不当な攻撃をはね返そう

道本部は2月6日、ホテルホールスター札幌で第54回臨時大会を開き、517人(うち女性53人、25%)が参加した。2013春闘方針、当面の闘争方針や都市交との組織統合を決定し、地公への不当な給与削減阻止、脱原発の取り組みをはじめ、第23回参議院選挙で「あいはら・小川」の再選にむけて組織の総力をあげることを決めた。

支え合う社会めざし団結 あいはら・小川 再選だ

昨年末の解散総選挙以降、世の中の様相は一変した。民主党の政権運営は、混乱と反発も伴ったが、社会的な価値や政治のあり様の大きな変革が進められた。しかし、その努力が、わずか1カ月で急激に逆戻りしている。そうした状況の中で開いた臨時大会では、道本部提起に対して参加者から、16人の発言で補強された(2〜3面参照)。当面する春闘では、1

春闘・参院選の圧倒的勝利

道本部あいさつ

執行委員長
山上 潔



衆院選は厳しい結果となった。政治的影響力の低下は深刻。政治反動の嵐が吹き荒れ、より一層の公務員バッシングや自治労攻撃が強化される。2013春闘の取り組みをはじめ、どれもが厳しい情勢下でのたたかきになることを覚悟しなければならぬ。夏の参院選は民主党の存続をかけたたたかきであり自治労の政治的力が試される。どんなに強い風が吹く政治的中央集権的政治姿勢の表れ、断固反対し中

たかなければならぬ。今春闘は、雇用の安定的拡大・賃金の引き上げ・底上げを本気になり取り組むことが必要。個人消費を増やし内需拡大をはかることが大きな命題。地公への人件費削減強要と地方交付税削減は、地方自治を否定する安倍政権の中央集権的政治姿勢の表れ、断固反対し中成功を勝ち取ろう。

自治労道本部結成50周年・歴代委員長リレーエッセー ③

森 朗 さん (77歳 第6代委員長)

「敗北は終わりではない！」



森さんは、1992年～1995年に委員長を務めた

自治労道本部の任務は1991年から副委員長、委員長と4年間であったが、私にとって道本部指導でたかかった1969年、全道庁医大支部での「看護婦夜勤制限闘争」が意義深い。仲間を信じ、組合を信じ、そして患者を信じての信条がその後26年間の集大成となっている。道本部での4年間は自民党政治がくり出した巨額赤字財政の建て直しとの美名のもとに「臨調行政改革」による生活者直撃の負担増が強いられ、さらに、公務員労働者には人事院勧告無視の賃金引き下げや現業の民

今、自治労は結成以来最大の厳しい状況にある。しかし、敗北は終わりはない！あきらめは終わりが先人の言葉で前進を信じてな一層の奮闘を期待したい！

原発・再生可能エネルギーへの転換をめざす運動の再構築も急務だ。さらに、第23回参議院選挙では道本部出身、現職のあいはら・小川(比例・第115回中央委員会推薦決定)と、今回推薦を決めた小川勝也(北海道選挙区)の圧倒的勝利は欠かせない。都市交との組織統合を契機に組織の強化拡大と、地域公共サービス、地方自治の確立を進め、みんなが笑顔で支え合う社会づくりをめざして全組合員が団結し頑張っていこう。

対自治体闘争ゾーンの取り組み

具体的戦術

- 2月18日(月)～25日(月) 要求書提出
 - 2月25日(月) 要求書集中提出日
 - 2月18日(月)～3月末 組合旗掲揚
 - 3月26日(火) 回答指定日
 - 3月7日(休)～3月14日(休) 重点交渉期間
 - 3月12日(火)～3月15日(金) 腕章着用
 - 3月15日(金) 超勤拒否、出張拒否
- 対自治体闘争自治労道本部統一行動
29分時間内くい込み集会

つながろうフクシマ！さようなら原発 北海道集会inいわい

- ◇ 3月9日(土) 午後1時から 岩内地方文化センター
ゲスト 豊田 直巳さん (フォトジャーナリスト)
小笠原厚子さん (大間原発建設地で「あさこハウス」を守り続けています)
- 東日本大震災・福島第一原発事故から2年
さようなら原発北海道講演会
- ◇ 3月11日(月) 午後6時から かねて2.7かてるホール
講演 豊田 直巳さん (東日本大震災以来、福島を撮りつづけているフォトジャーナリスト)
- 主催 「さようなら原発1000万人アクション北海道」実行委員会

JICHIRO スケジュール

- 2月
 - 22日(金) 第34回全国町村職総決起集会(東京)
 - 第11回臨時・非常勤等職員全国協議会総会(東京)
 - 26日(火) 第12回執行委員会(札幌市)
- 3月
 - 2日(出) 北海道医療十勝医療総会(帯広市)
 - 4日(月) 第13回執行委員会(札幌市)
 - 5日(火) 道本部拡大闘争委員会(札幌市)
 - 2013道本部自治体財政セミナー(札幌市)
 - 6日(水) 連合北海道2013春季生活闘争・第23回参議院選挙勝利総決起集会(札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

全組合員一丸となって

見せよう自治労の底力

経過に対する質疑
組織強化の視点で、労働者が求められる。労働者全体に大きく影響すること意識し、春闘や政治闘争に結集する。根本に地方自治

道本部答弁(経過)
富良野市労連の発言について、道選手組合交渉に地本専従者も入り団体交渉をするなど、道本部に結集したたいを促進してきた。組合員に実感

あいら再選を確実に
女性交流集会・政治消滅に臨み、男性、消滅に協力し、「仕事にあり、あいらは」再選をみんな確認した。

あいら再選を確実に
女性交流集会・政治消滅に臨み、男性、消滅に協力し、「仕事にあり、あいらは」再選をみんな確認した。

方針にそった制度を
解しつつも若年層の雇用確保への懸念も出ていた。最大限指針にそった制度を勝ち取るよう全力をつくす。森下臨時執行委員へお引き立てを

参院選で底力見せる
町村連幹事会の衆院選総括で労組として組織的運動ができていない実態が明らかになり、全職場にオルグになり、真剣に組合員に伝えなければ参院選はたかえない。

地域運動の展開を
1月30日に「職員給与を国公並みに引き上げる方針固め」と新聞報道された。理事者に強く抗議した。7.8%削減は中央段階で阻止できないと地方の取り組みは困難。中央での数万人規模の抗議集会、裁判闘争などやれば、独自の理由

給与削減阻止は住民の理解困難
政院支持は、民主党の綱領決定後も良いのでは。参院選の特定候補の推せんは、上部組織が決定したからでは、組合員は納得しない。給与削減阻止は、住民の理解困難

闘争体制強化を
退手改悪闘争では闘争方針に基づく戦術を取れなかった。全組合員の生活・人生設計に直撃する重要な問題。交渉支援や要り込みなどの行動が必要だったのでは。署名も取組みとは異なる。道本部の指導力と闘争体制強化を

憲法改正は労組解体につながる
1月30日に「職員給与を国公並みに引き上げる方針固め」と新聞報道された。理事者に強く抗議した。7.8%削減は中央段階で阻止できないと地方の取り組みは困難。中央での数万人規模の抗議集会、裁判闘争などやれば、独自の理由

自治労道本部結成50周年記念レセプション

50周年・未来への出発点に

反転攻勢、果敢に前進
自治労北海道本部は、1962年11月1日に全道庁全庁市町村連が合流し発足して、昨年11月に50周年を迎えた。臨時大会前日の、2月5日、ホテルホールスター札幌で結成50周年記念レセプションを開いた。会場には来賓や歴代委員長、組織内議員、退職者OBなど400人を超える参加者が駆けつけ、会場は熱気に包まれた。

山上委員長は、発足当時を振り返り、「今日まで関係団体の皆さんのご支援や諸先輩の寝食を忘れて活動した。自主福祉活動としての自治労共済運動が果たした役割も大きい」と強調した。

また、「これまでの運動の成果や教訓を踏まえ、公平・公正で民主的な社会、働く者や弱者がささやかでも安心して平和に暮らせる社会の実現に向けて、また、次

400人以上が集まった50周年記念レセプションは2月5日、ホテルホールスター札幌

働くものの議席を守る
あいら参議院は「コフレ脱却」といって、国家公務員賃金の削減を地方に推し進めようとしている。公務員だけの問題ではない。参院選が正念場。自治労の代表、働くもの

おいしいもの
当選者発表
答は、「自治労北海道本部は昨年発足50周年を迎えました」

新年号、「自治労北海道」『2013年のおいしいものプレゼント』に、182通(ハガキ116通、メール66通)、新年号の感想も含めてご応募をいただきました。今年は35人に各地方から商品をお届けいたします。

【問題・自治労北海道本部は昨年結成〇〇周年を迎えました】の答えは「50」。

今年のおいしいもの一番人気は「胆振地方・白老町職労・白老牛」に55通の応募がありました。

二番人気は『留萌地方・留萌市労連・自慢の海の幸うまいもんセット』に23通、三番人気は『宗谷・浜頓別職労・お楽しみ海産物詰め合わせ』に22通でした。ありがとうございます。また、ご協力いただいた地方本部・単組のみならず、感謝申し上げます。ありがとうございました。

当選者

【石狩・石狩市職労】幻の豚「望来豚ソーサー」2人 大島史也(神楽町) 杉山敏彦(滝川市職労) 後志・蘭越町職「らんじり米」なつぼし「2人」小澄寛 網走市労連 横木清美 留萌市労連 三井学(全道庁労連) 和寒町職「和寒フアクトリー」小島裕子(余市町職労) 留萌・留萌市労連・自慢の海の幸うまいもんセット「2人」白戸達也(取田町職労) 稲場ますみ(釧路市役所二〇三) 宗谷・浜頓別町職「お楽しみ海産物詰め合わせ」田田職【網走・雄武町職】オホトウチ職【勇野・雄武町職】「雄武」2人 今村ゆみ子(全道庁労連) 札幌総支部 高橋良弘(上川町職) 十勝・池田町職 生誕

50周年「十勝ワイン」3人 奥塚恒一(札幌市職連) 八倉サチ(札幌市職連) 公共サリ(札幌市職連) 河合孝芳(厚岸町職) 柳根・標葉町職・さわやかな風を感じて「風」1人 宮崎優子(士幌町職) 今金・方太郎「1人」三井学(全道庁労連) 山崎功(函館市職労) 胆振地方本部「お楽しみ海産物詰め合わせ」2人 山崎功(函館市職労) 胆振地方本部「お楽しみ海産物詰め合わせ」2人 山崎功(函館市職労) 胆振地方本部「お楽しみ海産物詰め合わせ」2人

大出書記長
職員の自治体財政の発言について、再生団体になり6年。そこから学び得たい。地方交付税総額を確保するなど、今後のたたかいに繋げる。女性部から報告があったとおもう。多くの成果があったと思う。地本単組の仲間らに、女性部の組織強化に繋げよう。

改善と組織化
臨・非職員の処遇改善と組織化

市長選挙で不安の声
北見市長選で小谷市長の再選にむけ取り組んだ

仲野前衆議院あいらつ
昨年の衆議院選で議席を失ったことをおぼろげに。この度、23年間の政治活動に区切りをつける決意をした。今日までご支

10勝代
7.8%削減の強要、交

道本部答弁(方針)
藤盛副委員長

再任用課題は、春闘でも極めて重要な課題として取り組む。7.8%の交付税削減の課題については、現時段階の提起は十分だが、本部拡大闘争委員会への提起を踏まえて大々的行動を取り組む。加えて単組・地域での取り組みへの協力。また、地財全体の取り組みをどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

中央情勢報告
自治労本部 徳永秀昭 委員長

政権交代ですべてに攻撃がはじまっている。麻生副総理は自治労を名差しして給与削減を明示している。反撃体制の構築が必要。交付税削減阻止のたたくは、自治体ですべてに独自削減、職員削減を行ってきている。地方自治を否定する暴挙。大衆行動を背景に取り組みを強化して。

2013春闘の重点課題は臨時・非常勤等職員の処遇改善。徳島大会で提起してから、全国の単組で取り組まれ成果も出ている。70万人の非正規の仲間が正規と同じ仕事をしている。自らの問題として位置づけよう。

政治闘争は小川さん、あいらの必勝にむけて全組合員一丸となったたたかいを。

道本部答弁(方針)
藤盛副委員長

再任用課題は、春闘でも極めて重要な課題として取り組む。7.8%の交付税削減の課題については、現時段階の提起は十分だが、本部拡大闘争委員会への提起を踏まえて大々的行動を取り組む。加えて単組・地域での取り組みへの協力。また、地財全体の取り組みをどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

道本部答弁(方針)
藤盛副委員長

再任用課題は、春闘でも極めて重要な課題として取り組む。7.8%の交付税削減の課題については、現時段階の提起は十分だが、本部拡大闘争委員会への提起を踏まえて大々的行動を取り組む。加えて単組・地域での取り組みへの協力。また、地財全体の取り組みをどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

公務員の賃金が簡単に削減されるのは納得いかない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。独自削減している場合もあつてはならない。削減を実施しないことと、削減率をどうするか。

男女がともに生きる社会に

規模や組織状況で活動に差

女性交流集会
2月2日、自治労会館で第32回女性交流集会、3日に女性政治学習会を開いた。交流集会には消防協も含む163人、政治学習会には、あいくみネットなどを含め204人が参加した。

政治学習会



女性交流集会で講演したエファジャパン理事長イーデス・ハンソンさん＝2月2日、自治労会館

第32回女性交流集会では、「女性の権利。男女がともに生きる社会。IIエファの活動」と題してイーデス・ハンソンさん(特定非営利法人エファジャパン理事長)が講演した。イーデスさんは、社会参加とは何か、人は何のために働くのか。経済的な自立だけではなく、自分がどう生きるのかを決めることが自立。また、そういう立場でも男女関係なく評価すべきだと話した。参加者は「男女の自立から社会が成り立つ。男女がともに生きる社会の中でちゃんと考えていかなければ」との感想が出された。

想像力と危機感もって学習

女性政治学習会は、はじめに、あいはらくみこさんが「私たちが求める国をつくるため、参院選は大きな力。自治労の協力国会議員として、現場の声を政策に反映し、安心社会・職場をめざしていききたい」と話した。つづいて、あいはら参議と逢坂前衆議が対談した。逢坂さんは「国の政策が正しいかどうか判断するものさしは自治体の



政治学習会の終わりに参加者があいはらさんを囲んで撮影＝2月3日

現場にしかない。正しいことを言うことが国を動かす推進力になる」と述べ、「今度の参院選で自民党が第一党になれば、何が起るかは火を見るより明らか。日本の国の将来がかかっている選挙だ。あいはらさんには、100万票とって勝ってもらわなければならぬ」とエールを送った。あいはら参議は、「選挙で結果を出せなければ自治体の現場にふりかかってくる。生活者、働くも



あいはらさんと逢坂さんの対談は、わかりやすく好評だった＝2月3日

の、地方を元気にするためがんばる」と決意を述べた。参加者から「想像力と

ヒロちゃんの国会だより

仲野博子の国会だより

⑬ 最終回

「生活者の視点から政治を見直します。地元では親戚や同級生もゼロの私が、根室の地で市議会議員に立候補したときのスローガンでした。その10年後、衆院選で惨敗。その時でも一区切りとさせていただきます。この間支えて下さった皆さまには言葉につくせない感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。一人の生活者の原点で、あいはら参議・小川参議の必勝にむけ全力で取り組む決意です。(2月13日根室市にて)

生活者の原点であいはら・小川必勝

やっぱり交流は大切!



職場だより

【釧根地本発】昨年11月3〜4日、青年部の「新入組員学校」を開きました。学校は、組合活動



分散会で他町の勤務状況を聞いた



スポーツ交流「ドッチビー」

の意義や用語の学習、他町の仲間との交流を目的に毎年開いています。今年度は、道本部・瀧口青年部長を講師に招き、「組合とは?公務員制度改革とは?」の講演で情勢を知り、今何をすべきか考えるきっかけになりました。また、伝説の青年部長「Takky



新入組員学校には63人が参加した＝11月3日、釧路市

(瀧口青年部長)が18世紀のイギリスにタイムスリップした構成詩は、産業革命で貧富の差が大きい中、仲間と組合運動を考える内容がわかりやすく、組合の流れをわかりやすく説明することがで

きました。分散会も参加者には初めての経験でしたが他町の勤務状況など、仲間の声を聞くことの大切さを学びました。2日目の、スポーツ交流ではドッチビーで、さらに交流を深めました。参加者は「組合を少し理解できた。他町の人の交流が楽しかった」などの感想から、改めて交流の大切さを感じました。今回の取り組みで得たことや問題点を今後に生かしていきます。(地本青年部長・津田真太郎)別海町職

チャレンジ! チルドレン・ファースト⑬

『学童保育・児童館』新制度で置き去り!?

2月9日から10日にかけて自治労の保育関係代表者会議が開かれ、地方自治体に対する要求モデル案や基準に関する自治労案などの案が提示されました。今後8月の全国保育集会以最終案をまとめる方針が提起されましたが、中でも見落されたが、中でも見落としてほならないと感じたのが学童保育や児童館についてです。

新制度において、学童保育は「地域子ども・子育て支援事業」に位置づけられましたが、児童館については置き去りにされています。

自治体によって学童保育・児童館の運営形態もさまざまですが、そこには保育所以上に多くの非正規労働者が存在しており、また組織化も進んでいないのではないのでしょうか。

いわゆる「小1の壁」を取り払い、「保育の連続性を確保するためにも、学童保育や児童館に働く仲間への処遇改善や社会的地位向上を、連合と私たち自治労がより積極的に関わっていく必要があると思います。

忙中余話

その昔、「試合終了の合図は次の試合の始まりの合図。勝って驕らず、負けて首を垂れることなく」と、先生が言っていたのを思い出します。

現役選手を続けている限り次の試合は必ずやってくるわけで、そこで結果を出すために「負けられない。最後まで希望を捨てずば課題を克服し、勝つてそこで試合終了ですよ」(大西誠)

ヒロちゃんの国会だより

2004年から連載している「国会だより」は、2003年11月、第43回衆議院選挙で2人の組織内国会議員が誕生してから、組合員に国会での活動を伝えようと8月11日付1855号からはじまった。当初7区・仲野博子さん、8区・金田誠一さんを順番で掲載し8年が経過した。「ヒロちゃんの国会だより」は本号で73回目をむかえたが、仲野前衆議が引退するため最終回となる。